

リーディングDXスクール事業【実践事例】

天草市立本渡中学校（熊本県）【指定校】

【取組内容①】「個別最適な学び」と「協働的な学び」を支える「他者参照」の機会の充実を目指した取組
(端末活用率の向上・生徒に委ねる授業観への転換を目指した校内研修の取組含む)

【取組前の状況】

- 大規模校で人数が多く、多くの生徒が使うとWi-Fiが止まりがちな設備環境
→端末活用率がとても低い状況
- 端末を効果的に活用した生徒主体の授業イメージを教師側がつかめていない状況
- 複線型の授業のイメージを持つことができない状況

【校内研修での取組】

- 校内研修での授業イメージの共有
(YouTube動画「【中学校編】 1人1台端末で学校が変わる!」の視聴)
- 講師招聘による研修
 - ・ICT支援員による活用研修
 - ・熊本県教育委員会 教育政策課教育DX・働き方改革推進室指導主事による講話
- ※「学習の手順」と「他者参照」から始めることの重要性

【具体的取組】「他者参照」を増やすための「Googleスプレッドシート」等の取組

- 振り返りを「Googleスプレッドシート」で行う方法に変更することから開始
- 各教科の特性を活かした振り返りの実践と、教科を超えて活用できる振り返りシートを共有する取組
- 単元全体の振り返りやまとめをクラウド上で一覧できるようにした取組
- 振り返りに加え、各自の進度を可視化したり、見通しを持ったりするための振り返りシートの工夫改善（次ページに実物）

リーディングDXスクール事業【実践事例】

天草市立本渡中学校（熊本県）【指定校】

【取組内容①】「個別最適な学び」と「協働的な学び」を支える「他者参照」の機会の充実を目指した取組
(端末活用率の向上・生徒に委ねる授業観への転換を目指した校内研修の取組含む)

○Googleスプレッドシートの実物

◇国語科（プルダウンの活用）

学習課題	目指す姿	物議を醸した内容を理解し、知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりする姿。	物議を醸した内容を理解し、知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりする姿。
2201	S：新出漢字や語句の意味を理解し、内容の全体と全体構成を捉える。	物議の前後や考えが定まる。	物議の内容を読み取り、メロス・王についてわかる部分からそれぞれの人物や考え方を捉えて理解することができました。同時に思ったところや、最初の方で捉えた人物の特徴や考え方の違い、途中で気づいた部分など、思い出しにつなげることができました。議をたくさん引いて良いことがありました。
2202	A：新出漢字や語句を理解し、内容の全体を捉える。	物議の内容が分り、登場人物の心情を自分なりに考えることができました。	物議の内容を読み取り、メロスやディオニス王の人物像を捉えることができました。
2203	A：新出漢字や語句を理解し、内容の全体を捉える。	物議の内容を読み取り、メロスやディオニス王の人物像を捉えることができました。	物議の内容を読み取り、メロスやディオニス王の人物像を捉えることができました。
2204	A：新出漢字や語句を理解し、内容の全体を捉える。	物議の内容を読み取り、メロスやディオニス王の人物像を捉えることができました。	物議の内容を読み取り、メロスやディオニス王の人物像を捉えることができました。

◇数学科（個人の進捗を可視化）

名前	第17時の個人あて	「長方形のしるしの対角線」についての理解	教科書P148 問2	教科書P148 問3	「直角三角形の斜辺の中点」についての理解	教科書P150 問4
1	ボス問題まで進む	OK	OK	OK	OK	チャレンジ
2	チェックテストまで終わらせる	OK	OK	OK	OK	OK
3	全問題まで終わらせる	OK	OK	OK	OK	OK
4	ボス問題まで進める	OK	OK	OK	OK	OK

◇社会科（学習計画を含む）

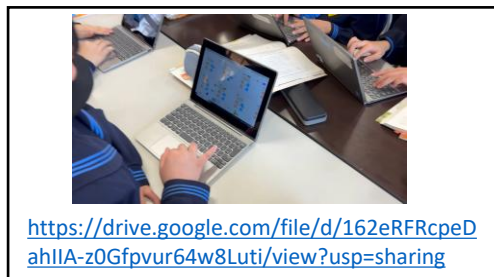
アフリカ州 【単元を通じた課題】 アフリカ州では、なぜ国際的な支援が必要とされているのだろうか？			
1 時間目の計画	2 時間目の計画	3 時間目の計画	分からないことや疑問・課題
アフリカ州の地形と気候について調べ、まとめる	知識プリントを終わらせる	資料活用問題	
アフリカ州の地形と気候についてまとめる	資料活用問題、知識のプリントをする。次に小	10分くらい、資料活用問題、知識のプリントをする。次に小	
気候、地形について	教科書の読み込み、キーワードに印をつける	小テスト 資料活用問題	
アフリカ州の地形と気候について調べる	知識プリントまとめ、余った時間で資料活用問題をする	資料活用問題、小テスト	
アフリカ州の地形と気候について調べる	知識のプリントと資料活用問題をする	小テストをする	

○デジタルホワイトボードの実物

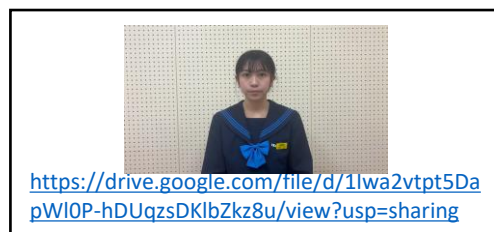
◇国語科の取組



○生徒の様子（他者参照）



○生徒の声



○取組による変容

- ・生徒の学びやすさの向上（左下動画）
- ・端末活用の教科が増えたことによるスキルの向上
- ・教師の端末活用率の向上（意識調査 54%→81%）

○今後の課題

- ・活用が授業導入および終末に偏る傾向があるため、深める段階での活用をより充実させる必要性あり